

■機械工学科

主任教授 白木 尚人（1991機械）

卒業生の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
令和5年度の機械工学科の近況をご報告させていただきます。

昨年10月に新10号館棟に引っ越しが完了し、いずれの研究室も新年度は新10号館での研究スタートとなりました。卒業生の皆様がかつて研究室で過ごされた旧10号館、旧13号館は、取り壊され、新しい建屋、施設になる予定です。何十年振りの研究室の引っ越しでしたので、まだ整理のつかない箇所は多々ありますが、心機一転、教員はじめ大学院生、学生さんも一生懸命研究に取り組んでおります。

4月より内燃機関工学研究室に崔竣豪教授、表面加工研究室に小玉脩平准教授が着任されました。両先生の今後のご活躍に大いに期待しています。また、機械工学科のこれまでの教員との研究のコラボレーションにも期待できると思っております。

写真は10号館1階の創成工房です。ここでは装置等、研究室毎に割り当てられていますが、機械工学科の試験装置類が一同に集められています。これまで研究室毎に設置されていた装置ですが、他の研究室の装置、実験の様子が見ることができて、学生さん同士、大変刺激し合っているようです。次に就職の状況としては9月末時点での内々定は学部生で約85%、院生が93%となっております。コロナ禍では少し厳しい就職状況でしたが、コロナ禍が明けて内定率はコロナ禍前の水準に戻って来たように感じられます。

